

胆振東部地震による被害の状況について

平成30年9月6日(木)午前3時8分、胆振中東部を震源として、最大震度7の北海道胆振東部地震が発生。札幌市内も最大震度6弱(東区)、私たち里・美地区においても液状化現象、地盤変状、建物損壊など、多くの被害があり、地質調査や道路補修など復興作業の最中です。

震災後の対応状況について

里塚中央町内会 会長 盛田 久夫

9月6日の午前3時頃、身の危険を感じるほどの突然大きな揺れに襲われ、そして直後の大停電の中、とりあえず大きな揺れがおさまったところで、まず高齢者一人暮らし世帯の方々の安否確認をしました。そして、避難者の情報(避難先・連絡方法など)を確認し、避難所(3ヶ所)を訪問し、避難者の様子を確認しました。また、高齢者への給水のお手伝い等を行いました。

被災による留守宅を狙つた泥棒なども出没したため、町内会役員で夜間パトロールを実施しました。不審者や野次馬等との見分けがつくように、パトロール用の腕章を作成しました。パトロールは当初町内会役員9名でスタートしましたが、その後、有志の方等も応援として参加してくださいり、現在は15名程度で行つております。災害による被害の大きさもさることながら、災害後の治安の確保も大きな課題となっています。町内会員には、通行証として「町内会員証」作成配布しました。

その後、全国的にも例がない住宅地の広範囲に及ぶ被害に対し、行政の対応も手探りで、さらに町内会区域内でも被害にばらつきがあることから、復興に向けた動きを加速させるため、被災した同じ立場の住民有志が集まり、災害復興委員会を立ち上げました。その間には、札幌市による地元説明会を清田区体育館で、第1回目を9月13日(木)、2回目を10月18日(木)、3回目を11月15日(木)と回を重ね、少しづつ



胆振東部地震災害について

美里町内会 会長 中村 克己

9月6日、前日の台風21号による災害状況を確認している中、午前3時8分に厚真方面を震源とし、清田区でも震度5強の今まで経験したことのない地震に見舞われ、同時に発生したブラックアウトには、戸惑い不安を募らせました。直後に一人暮らしの方の安否確認を民生委員、町内会役員を中心で行い、全員無事であることが確認できました。

町内会館の外観に異常はなく、会館内の増築部分の継ぎ手の大広間天井から、ほこりが散乱し、食器棚から食器類が散乱し破損していました。役員のほか、

まだまだ復興に向けた動きは始まつたばかりですが、多くの方からいたいた励ましやご支援には大変感謝しております。今後も地域一丸となって復興に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

震災を振り見て

羊ヶ丘通町内会 会長 丹野 勝

9月4日には台風21号が荒れ狂い、多くの倒木被害があり、そして9月6日午前3時8分頃の北海道胆振東部地震で、当町内会も一部地域が被災しました。

私は緊急事態と判断して、被災した地域の副会長と手分けし、目視で異常と思われる家を簡易聞き取り調査しました。その中で傾いた家だけでも20戸程度ありました。今回外回りを中心に調査しただけでも①液状化による家屋の沈下②縁石破損③道路に沈下④マンホールの突出⑤電柱の埋没⑥家周りの地割れ⑦コンクリート塊の亀裂やすれ等多岐に渡りました。当町内会は、平成15年の十勝沖地震でも被災を経験し、今回の被災地域とほとんど重なっていました。



ボーリング調査



今回の分析結果は年明けの2月末頃になると聞いていますので、町内会として第二回目の説明会を企画しています。

おわりに、被災された方々から感謝と激励の声をいただきました。大変うれしかったです

第25号 2018.12 発行 里塚・美しが丘地区 町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
里塚・美しが丘地区センター内

電話 011-884-1210

里・美町連ホームページアドレス
<http://satomitiku.skr.jp/>

広報部(編集委員)

部長	北村 篤介
副部長	南部由貴恵
副部長	奥谷 典子
オブザーバー	小林 哲也



①陥没した道路



②ひび割れた美小グラウンド



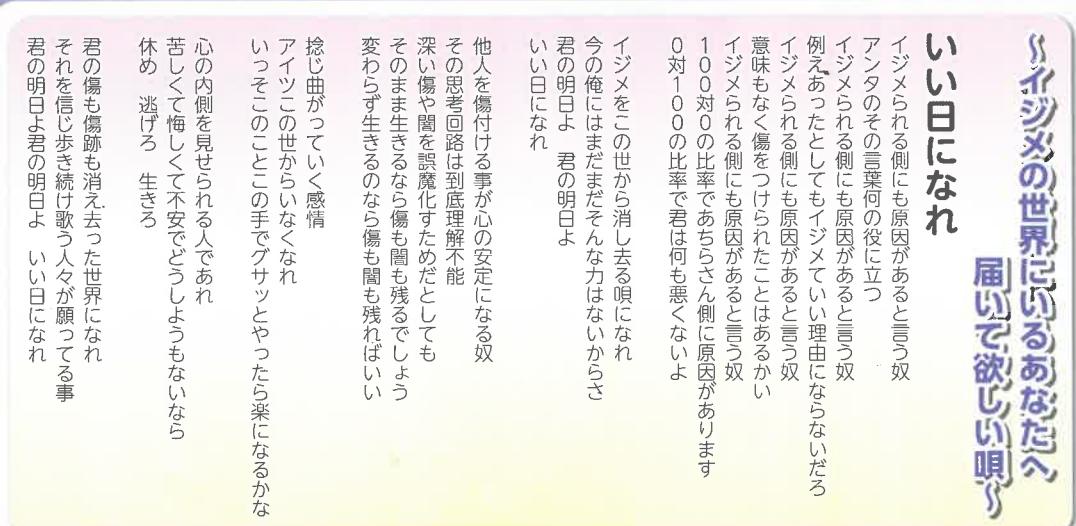
③復旧工事中

青少年育成部 子どもを見守る会

7月17日(火)、里・美地区センターにて、「第19回 里・美地区子どもを見守る会」が開催され、町内会や自治会、少年補導委員会、警察、学校、区役所などの地域の子どもに関わる関係団体から125名が出席しました。

大形会長より西日本での自然災害のお見舞いと挨拶に続き、学校関係から生徒会活動の発表がありました。真栄中は「良いまち」とは、一体感のあるまち、その為には仲間を集め、声掛けをし、「自然豊かな地域を守る」という目標に向かって活動しています。平岡緑中は、今年度20周年を迎えるので、全校生徒で学校を創る、「緑萌祭」を成功させようと頑張っています。平岡中は、「よりよい清田区を考える」をテーマにボランティア活動をしていましたとの紹介がありました。

続いて、札幌市教育委員会 二田村指導主事の「いじめの問題への対応」の講演があり、最後は、中学道徳教材に歌詞が掲載された、清田高校出身の「いとたい」氏のメッセージ曲で締めくくられました。



「いじめの世界にいるあなたへ 届いて欲しい唄」



交通安全街頭啓発

交通安全市民総ぐるみ運動(夏・秋・冬)に伴う街頭啓発が行われました。

交通安全市民総ぐるみ運動(夏・秋・冬)に伴う街頭啓発が行われ、それに合わせて地域住民による街頭啓発が行なわれています。

春の街頭啓発に続き、7月12日(木)には参加人数約180名(美しが丘小生徒約50名を含む)で国道36号沿いのブックオフ札幌美しが丘店前で、9月25日(火)には参加人数約150名(美しが丘小生徒約50名を含む)でブックオフ札幌美しが丘店前で、また、11月13日(火)には清田区の5町連合同で西友清田店前で総勢500名で行われました。いずれも清田区長や豊平警察署長ほかご来賓の挨拶の後、幹線道路沿いで「スピードダウン」等と書かれた黄色のフラッグを通じて車のドライバーに示し、安全運転を呼びかけました。



清田区総合防災訓練

8月31日(金)午後1時より、美しが丘緑小学校にて清田区総合防災訓練を実施し、当町内会より15名が参加しました。当日はあいにくの雨天のため、同小学校体育館内で札幌市作製の防災DVDを鑑賞して災害への備え等を学び、また、防災用品の展示などを見学して終了しました。



環境衛生部 古着回収(秋)

10月21日(日)、里・美地区センター駐車場において、里・美町連の環境衛生部による今年度2回目の古着回収イベントが行われました。このイベントは「減量化とリサイクルを目的として、昨年度から春と秋の2回、実施場所を変えながら行われてきました。回収の対象は今回も前回同様、古着全般のほか、靴、カバン、ぬいぐるみとして実施されました。

当日は好天に恵まれ、9時から夕方4時までの受付時間の間にこれまで最も多い322名の来場者があり、持ち込まれた古着などの総量は4060キログラムとなりました。これらの古着類はリサイクル事業者に引き取られ、東南アジアで衣類等として再利用されます。今年度の古着回収は終了致しましたが、今後とも協力をよろしくお願いいたします。

当日は好天に恵まれ、9時から夕方4時までの受付時間の間にこれまで最も多い322名の来場者があり、持ち込まれた古着などの総量は4060キログラムとなりました。これらの古着類はリサイクル事業者に引き取られ、東南アジアで衣類等として再利用されます。今年度の古着回収は終了致しましたが、今後とも協力をよろしくお願いいたします。

体育部

壮年野球大会



8月26日(日)、清田公園グラウンドにて第21回清田区地区对抗壮年野球大会が行われました。

開会式では、里・美地区の佐々木 寛選手(ファミール美しが丘町内会)が選手宣誓を行い、シード権を得て2回戦から登場。しかし、今大会優勝した清田中央地区との対戦に、若手中心で(40歳代)挑みましたが、残念ながら大敗を喫してしまいました。

しかし、今回の敗戦は必ず来年につながると思います。選手の皆さんお疲れさまでした。

来年こそは、がんばる里・美!



体育部 ゲーム＆ウォーキング

9月2日(日)、第22回ゲーム&ウォーキングは約90名の参加で開催しました。

里・美地区センターから平岡公園を散策し戻つて来る、約5kmのウォーキングを楽しみ、ゴールでは女性部が調理した朝もぎ茹でトウモロコシを頬張り、そして里・美町連体育部恒例のbingo大会がスタート。「あつた・やつた・ああ」など、「喜一憂のなか大会が終了しました。

来年は9月1日(日)の開催予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

最後に9月6日の地震で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。



中学校区福祉のまちづくり研修会

10月29日(月)、羊ヶ丘通町内会館にて行われ、今年は真栄中学校区の11町内会・自治会と、他の校区から5町内会の会長、民生・児童委員、福祉のまち運営委員を合わせて55名の参加がありました。

地震災害後である今回の研修会は、昨年より横のつながりの重要性が、どのテーブルでも話題になりました。



ゴマちゃんサロンだよ!

子育てサロン

毎週月曜日午前中、里・美地区センター一階で開催しています。遊びに来てね!



<http://satomitiku.skr.jp/wps/>

福まち 日帰りバス旅行

今年の日帰りバス旅行は、9月1日(土)、119名の参加があり、バス3台を連ねて出発。百合が原公園を散策し、ガートーキングダムでランチバイキングを楽しみました。

参加した方から「楽しかった～!」との声をたくさんいただき、担当者は次回に向けてもうプレッシャーを感じています(笑笑)。



真栄中学校合唱部「全国大会出場」

私は、この真栄中学校合唱部に入り、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。

今年は人数も少なく、目標だった全国大会に進むことは無理だと思つていきました。たゞ、3年生はもう一度あのステージに立ちたいという思いで必死に1・2年生を引っ張り、頑張ってきました。その結果、NHK全国学校音楽コンクールと全日本合唱コンクールの二つのコンクールで全国大会に進むことができました。そして、全日本合唱コンクールでは金賞を受賞することができました。

少ない人数で歌うので、どちらのコンクールも本番ではかなり緊張しましたが、悔いなく歌いきることができました。

今までこのような素晴らしい体験をすることができたのは、部員だけでなく、ご指導してくださる先生やOGの方々、支えてくださる保護者の方々、そして、私たちのこと当にありがとうございました。これからも真栄中学校合唱部の応援をよろしくお願いします。

部長 西野愛梨



平岡緑中学校開校20周年

10月5日(金)、平岡緑中学校体育館にて同行の学校祭「緑萌祭」終了後に、開校20周年記念式典が行われました。吹奏楽部による「西遊記（天竺への道）」の演奏のあと、荻原校長先生の式辞では、北海道胆振東部地震当の時に、学校の向かいのコンビニエンスストアで、地域の皆さんがあつまし合い助け合っていた事が紹介され、「素晴らしい人々が住む地域にある学校を誇りに思うとともに、そのような地域に暮らす生徒を幸せだと思う」また、学校祭の中で生徒が「自分たちは北海道の復興へ向けて何ができるのだ？」などの問い合わせていたことにふれ「この20年の歩みが確かにあったこと、平岡緑中の未来は輝かしいものである」とを確信している」とお話をされました。

そして、教諭と生徒が制作したスライドショーで同校の歩みを振り返りました。

生徒代表の言葉として生徒会長の小笠原大希さんが、「平岡緑中の未来に向け、生徒が自ら思考し、判断して行動することが大切である」と訴えていました。

このあと、生徒による全校合唱と校歌を斉唱し、開校20周年の節目をお祝いしました。



平岡南小学校「開校30周年記念」「どの子もしあわせな学校」

11月28日(水)、平岡南小学校「開校30周年記念式典・児童集会」が行われ、先ず校長から北海道胆振東部地震のお見舞いと児童たちには、校木でもある「白樺」の様に美しく、たくましく育つてほしいとのお話があり、児童たちは良い姿勢で静かにお話を耳を傾けていました。

続いて、児童集会では、大きなバースデーケーキが「HAPPY BIRTHDAY」の歌声と共に登場してきました。平岡南小学校の事を良く知る、児童扮する仙人に「豊かな心の火」「健やかな身体の火」「学ぶ力の火」をいただきバースデーケーキに灯しました。HAPPY BIRTHDAYの最後は、全校合唱で「風になれ」のきれいな歌声で締めくくられました。

笑顔いっぱい・あいさついっぱい・夢いっぱいの同校の益々の「こころ」の発展が活躍を願っています。



平日伸一「副会長が会長代行に就任」

8月21日(火)に行われた定例理事会において、大形会長のご病状から業務遂行が困難であると判断し、平日伸一副会長に会長代行を務めていただいきました。

大形会長から教えていたいた事を忘れずに、地域の力を合わせ、震災に負けない強い里・美にしていきます。

大形会長お疲れ様でした。

そして、ありがとうございました。

大形会長から教えていたいた事を忘れずに、地域の力を合わせ、震災に負けない強い里・美にしていきます。

クリーンさつぽろ表彰受賞 美しが丘南公園町内会

11月7日(水)、札幌市中央区のわくわくホリデーホールで行われた平成30年度のクリーンさつぽろ表彰式において、「ゴミ減量リサイクルの模範的な取り組みに対し、美しが丘南公園町内会がクリーンさつぽろ衛生モデル地区表彰を受賞しました。

大久保会長からは「町内会員一軒一軒が、それぞれゴミステーション番号を一週間交代で義務として務め、綺麗にすることが当たり前とすることが、将来子どもたちにも引き継がれていくことに繋がります。まだまだ違反「ゴミや多々問題もあり、もつと画期的な良い方法がないか日々考えており、より良いアイデアが有りましたら積極的に取り組んでいきたいと思います」とのことです。



写真左端が大久保会長



大形会長を偲んで

平成21年から約9年半の長きにわたり、里塚・美しが丘地区町内会連合会の会長を務め、里塚・美地区の発展にご尽力されました。

6月末明に入院先の病院で逝去されました。病気を患つてからも、治療の傍ら持ち前の大形修三氏が、去る9月4日未明に入院先の病院で逝去されました。しかし、今年7月末に病気治療に専念されたため入院されておりました。が、また元気な姿で戻ってきてほしいといふ周囲の願いも適わず、お亡くなりになりました。謹んでお悔やみを申し上げます。

大形会長は、出会うと常に元気に大きな声で「おう！元気か！」頑張ってるな！よろしくたのむぞ！」など、いつでも誰にでも氣さくに声を掛け、皆に元気をくれました。大形会長は、わたしたちにたくさんのお話を教えてくれました。

「家庭と仕事が一番大切な」「まず、自分が楽しめ」「何でもまずはやつてみれ」そう言って、地域のボランティアに取り組む皆さんの背中を押してくれました。

7月の「子どもを咲かせる会」で挨拶をされたのが最後の公務でのお姿だったかもしれません。その後、自宅近くの公園で「体を動かさなきゃ」と、休みながらも公園内を一步一歩、足を進める大形会長がいました。あきらめずに全力で生きる強いお姿がそこにありました。